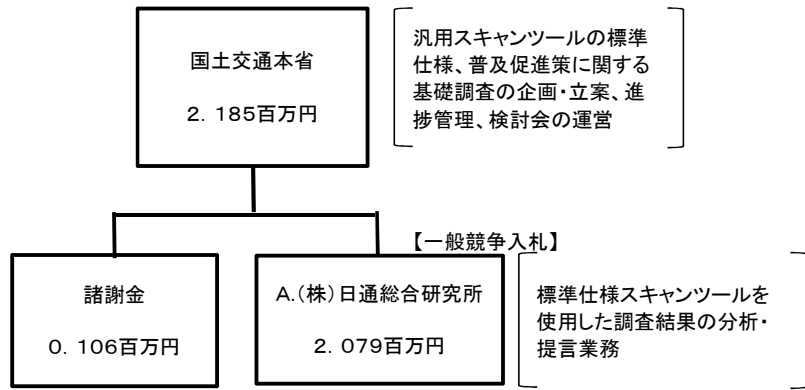


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	新技術に対応した整備技術の高度化 促進方策事業		<b>担当部局庁</b>	自動車局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・ 終了(予定) 年度</b>	平成22年～		<b>担当課室</b>	整備課		課長 島 雅之		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	5(14) 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、 ハイジャック・航空機テロ防止を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	—		<b>関係する計画、 通知等</b>	—				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	新技術に対応した整備技術の高度化を促進し、自動車の安全確保及び環境保全を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の新技術の利用の拡大に伴い、故障を診断し必要な整備を効率的に行える汎用型のスキャンツールの普及に向けた標準仕様や普及促進策等の検討。</li> <li>・学識経験者、自動車関係団体等による検討会。</li> <li>・報告書の作成</li> </ul>							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算		1	4	7		
		補正予算		-	-	-		
		繰越し等		-	-	-		
		計		1	4	7		
		執行額		0	2			
	執行率 (%)		23.9%	52.1%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (27年度)	
	①事業用自動車 が第1当事者の 交通事故にお ける死者数 ②事業用自動 車が第1当事 者の交通事 故における人 身事故件数 ③事業用自動 車による飲酒 運転に係る道 路交通法違反 取締件数 ※初期値:①513 人(20年)、② 56,295人(20 年)、③287人 (20年)	成果実績		①468 ②51,510 ③207	①490 ②49,061 ③177	①447 ②49,080 ③151	①380 ②43,000 ③0	
		達成度	%	①34 ②36 ③28	①17 ②39 ③38	①50 ②54 ③47		
	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
検討会開催実績		活動実績 (当初見込み)	- (-)	3 (3)	3 (4)	- (4)		
<b>単位当たり コスト</b>	( 0.035百万円/回 )		算出根拠	検討会開催1回実施あたりの必要コスト (平成23年度検討関係執行額:0.106百万円、実施回数:3回)				
<b>平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳</b>	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0						
	職員旅費	0						
	委員等旅費	0						
	公共交通等安全対策調査費	6						
	計	7						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国民の安全・安心を確保する観点から、自動車に採用されている新技術の利用拡大に対応した整備技術の高度化を図るものであり、国が実施すべき事業。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先や使途について、常に把握し、必要なものに限定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	自動車に採用されている新技術の利用拡大に対応した整備技術の高度化を図るため、着実に検討を行っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>・本事業に係る経費については、検討会の開催毎に諸謝金等を算出し、該当者に支出する等、支出先や使途については明確に把握している。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】</p> <p>支出先や使途について、引き続き把握した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0286

※平成23年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.(株)日通総合研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
請負費	標準仕様スキャンツールを使用した調査結果の分析・提言	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日通総合研究所	標準仕様スキャンツールを使用した調査結果の分析・提言業務	2	1	77.95
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					